

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	県立千代田高等学校全校生徒及び教職員 180名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 行事名(「広島県オリンピック・パラリンピックムーブメント」講演会)
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピック教育を実施することで、生徒のスポーツに対する学びを深め、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進する。 また、オリンピックの競技に対する姿勢さらには人生についての講話を聴くことにより、目標に向かって努力することの大切さや自己の資質や能力を最大限に活かして自己実現を図る姿勢を身につける
5 取組内容	水泳(競泳)競技 ロンドン・リオデジャネイロオリンピック(2大会連続) 200mバタフライ 銅メダリスト 星奈津美氏による講演 
6 主な成果	・「1日の終わりに後悔を残さない」「『当たり前』に感謝をする」「夢は自分一人のものではない」などの言葉が生徒の心に響いたようである。病気を克服されて成果を残された星氏の生き方に深く感銘を受け、自己の生活、意識を改めていきたいと感想を記す生徒が多数であった。

	・講演の導入としてクイズ形式でオリンピック・パラリンピックの歴史などについてもお話しいただいたり、実際のメダルを全員に触らせてもらったりした。このことによりオリ・パラに対する理解も深まり、東京大会についても「見てみたい」という生徒の興味関心の向上につながった。 ・質問の時間にも多くの生徒が星氏に質問をしていた。緊張する場面での気持ちの持ちようなど具体的なメンタルコントロールの方法も生徒にとって良い刺激となった。
7実践において工夫した点（事業の特色）	スポーツやオリンピック、あるいは来ていただくオリンピックに対する関心の向上を目的とし、事前に紹介映像（リオオリンピックのレース映像）を全校集会にて上映した。
8主な課題等	保護者や地域の方々にも参加を呼びかけ、家庭や地域と一体となった取り組みとなるよう位置づける。 北広島町ではドミニカ共和国の柔道競技と陸上競技が事前合宿を行うこととなっており、柔道競技において本校の格技場を練習会場として使用した。これらの取り組みとも連動させて更なるオリンピック・パラリンピックムーブメントの推進をしていくことが今後の課題である。 今回が初めての取り組みであったが、来ていただくアスリート（事務所）との連携をもっと密にとるべきであったと感じている。
9来年度以降の実施予定	トップアスリートの努力や生き方・考え方など、生徒に対する影響は非常に大きなものであると考える。 次年度も継続して実施できれば東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成につながる。